



## モニタモード

---

- [モニタモードの概要](#) (1 ページ)
- [モニタモードの有効化 \(GUI\)](#) (1 ページ)
- [モニタモードの有効化 \(CLI\)](#) (2 ページ)

### モニタモードの概要

RFID タグの監視とロケーション計算を最適化するには、802.11b/g アクセスポイント無線用の 2.4GHz 帯域内で最高 4 つのチャンネルでトラッキングの最適化を有効化できます。この機能を使用して、通常、タグが動作するようにプログラムされているチャンネル (チャンネル 1、6、11 など) のみをスキャンすることができます。



(注) 対応するモードのサイトタグを使用して、AP を特定のモード (センサーモードからローカルモードまたは flex モード) に移動できます。AP がどのモードにもタグ付けされていない場合は、デフォルトのサイトタグで指定されたモードにフォールバックします。

---

### モニタモードの有効化 (GUI)

#### 手順

---

- ステップ 1** [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] > > の順に選択します。
  - ステップ 2** [Access Points] ページで、[All Access Points] セクションを展開し、編集する AP の名前をクリックします。
  - ステップ 3** [Edit AP] ページで、[General] タブをクリックし、[AP Mode] ドロップダウンリストから [Monitor] を選択します。
  - ステップ 4** [Update & Apply to Device] をクリックします。
-

# モニタモードの有効化 (CLI)

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>ap name <i>ap-name</i> mode monitor</b> 例 : Device# ap name 3602a mode monitor	アクセスポイントのモニタモードを有効にします。
ステップ 2	<b>ap name <i>ap-name</i> monitor tracking-opt</b> 例 : Device# ap name 3602a monitor tracking-opt	使用する国でサポートされる動的チャンネル割り当て (DCA) チャンネルのみをスキャンするようにアクセスポイントを設定します。
ステップ 3	<b>ap name <i>ap-name</i> monitor dot11b</b> [ <i>first-channel second-channel third-channel fourth-channel</i> ] 例 : Device# ap name 3602a monitor dot11b 1 2 3 4	アクセスポイントによりスキャンされる特定の 802.11b チャンネルを最大 4 つ選択します。  米国では、チャンネル変数に 1 ~ 11 の値 (両端の値を含む) を割り当てることができます。その他の国ではさらに多くのチャンネルがサポートされています。少なくともチャンネルを 1 つ割り当てる必要があります。  (注) 使用可能なチャンネルを表示するには、 <b>show ap dot11 {24ghz   5ghz} channel</b> コマンドを使用します。
ステップ 4	<b>show ap dot11 {24ghz   5ghz} monitor-mode summary</b> 例 : Device# show ap dot11 5ghz monitor-mode summary	モニタモードですべてのアクセスポイントを表示します。
ステップ 5	<b>show ap dot11 {24ghz   5ghz} channel</b> 例 : Device# show ap dot11 5ghz channel	次に、802.11a チャンネル割り当ての設定と統計情報の例を示します。